

5月20日開催第7回『新しい資本主義実現会議』提出資料

東京大学 柳川範之

人への投資の重要性

新しい資本主義の大きな柱

世界の構造変化に合わせたスキルアップが社会全体で必要

それぞれの立場に応じて、人的資本をしっかりと高めることがカギ

なぜ、政策対応が必要なのか

- ・教育や能力開発は外部性が大きく（社会全体への波及効果が大きく）
個人の選択に任せておくと、過少投資になりがち
 - ・人的投資については、借入制約が現実にはあり、過少投資になりがち
- ⇒ 政策によって、過少になりがちの人への投資を拡大

人々が環境変化に対応し、より望ましいところで活躍できるよう、**人的資本への投資を政府がきちんと支出していくことが必要**、本来は重要な社会保障

木目の細かい人への投資を

- ・人への投資といっても、それぞれの人の置かれている状況によって必要なことは大きく異なる。**それぞれの状況に応じた対処が必要**

非正規雇用・フリーランスの方々が、

しっかりとしたスキルアップができる機会をつくる

若者の起業等の取り組み支援

中高年がより活躍できる場に動けるような能力開発支援

AI人材、DX人材の育成

高齢者が、しっかりと活躍できる場所をつくるための能力開発支援

具体的な対処策

・兼業・副業の一層の推進 動きたい人が動ける環境整備

技能の習得につながる OJT による能力開発

転職のステップになる

多様な知見を得ることができる

人手不足の状況下では、受け入れ側にも大きなメリット

どこまでなら利益相反にならないかガイドライン的なものをつくる

・能力開発の手前段階での情報不足解消

何から手をつけて良いか分からない人への情報提供

ワンストップのシンプルなキャリアコンサルティング

民間がプラットフォームつくって提供する仕組みができないか

・それぞれの企業が行っている教育プログラムのシェアリング

・大学のカリキュラムも、オンライン活用で社会人が学びやすくする

・働き方に中立的な制度への見直し（退職所得課税等）

取引適正化

・オープンイノベーションを実現するためには、取引適正化は不可欠

・マクロ経済からみても、賃金上昇が適切に価格に転嫁できる環境は重要

競争政策

・これからの競争政策は、

競争環境の変化への迅速な対応、

技術環境の変化によって生じた新しい市場に対する適切な対応

がますます重要になる。

そのためにもアドボカシー機能の活用は大きなポイント